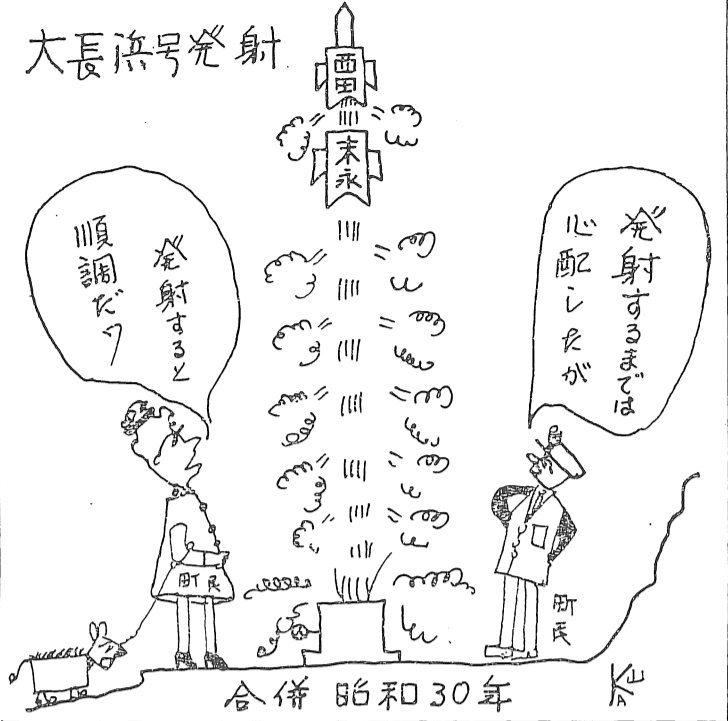


長浜町10年の歩み

射光号浜長大



議会活動状況

年次	招集回数	提案数	出案件数
30	9	251	
31	8	114	
32	8	98	
33	7	94	
34	6	92	
35	7	124	
36	7	101	
37	8	133	
38	9	135	
39	6	96	

保育所の状況

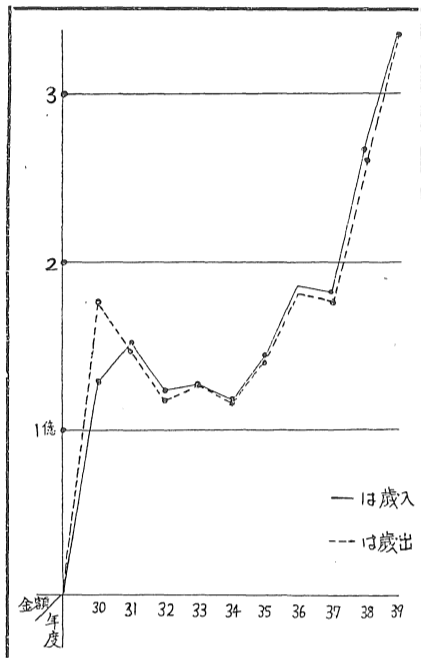
	園児数	保育数
長浜保育所	120	9
沖浦 "	70	6
大和 "	50	5
白滝 "	90	7
出海 "	72	5
喜多灘 "	29	2
櫛生 "	60	3
豊茂 "	50	3
青島 "	31	2
計	572	42

世帯数と人口

年度	世帯数	人口
30	4,265	20,283
31	4,171	19,963
32	4,169	19,614
33	4,165	19,286
34	4,173	19,074
35	4,171	18,246
36	4,185	18,050
37	4,133	17,897
38	4,099	17,323
39	4,100	17,022

主な民生事業

竣工年月日	事業名	事業費
三三、三三	青島診療所	九四〇千円
三五、三二	隔離病舎	二、八八〇
三五、三〇	大和診療所	一、四八〇
三七、二八	じんあい焼却場	四、〇〇〇
三九、七、一	火葬場	六、七五〇
三九、二、一	水道	一〇五、四三〇



主な土木事業

年度	事業名	事業総額
三〇	白滝柿早橋	四、五〇〇千円
三三	喜多灘白滝線改修	六、二〇〇
三六	長浜地区下水道	三三、八〇〇
三九	町道戒川線改良	二、七〇〇
三九	大和新橋愛生橋改良	二、四〇〇
三六	海運センター建設	二一、二八三
三六	ホイルクレーン設置	五、〇〇〇
三九	長浜地区町道舗装	二、七八八

主な公立文教施設整備事業

年度	事業名	事業費
三〇	長浜小学校建築	九、三六五千円
三三	青島中学校建築	一、九四五
三三	大和才一中学校建築	七、二九〇
三三	戒川へき地集会所建築	三、八一九
三三	櫛生小学校	一、五七六
三六	白滝小学校建築	一九、〇五五
三六	大和才一中屋内運動場	六、二九〇
三六	櫛生中	一、五二九
三八	出海中学校買収	一、一九九
三八	青島小学校建築	一三、七八七
三九	大和才一中学校増築	一、六八七
三九	出海、大和才一中増築	三、六八九
三九	青島中学校増築	一、三三二
三九	出海、櫛生小増築	一、三三二
三九	大和才一小学校	二、二五〇
三九	長浜町体育館建築	六三、〇〇〇
三九	沖浦福音堂建築	一、四五〇

長浜町十年の歩みを顧みて

西村 砂 翁

春は過ぎ、夏は去り、四季の移り変わりと共に、町政がおかれたから、早くも、十年の過ぎ去った歳月を、冬の夜長に、静かに回顧してみよう。

財政的、地理的に恵まれず、「こんないなかが町になる。役場が遠くなる。」と、こんな声をききながら、久しく呼び親しんできた大和村に、終止符を打って、新長浜町が誕生し、手腕才能ある初代町長の施政が始められました。

夏は、海水浴でにぎわう港灣整備、道路のび、また、舗装され、てきました。養老院ができ、身よりのない人の老後に安らぎが与えられ、保育所に幼き者の小さな社会生活の才一步が、ふみだされました。

末つ子が、小学三年の頃、「今部落に何が一番欲しいか。」との宿題をもち帰り、「マイクだなあ」と話したことがありま

まもなく、有線放送電話が実現し、朝に、夕べに、町の情報が伝えられ、折にふれての音楽が澄んだ空気をふるわせて流れてきます。町内というよしみ、婦人会の会合などにも、あつたびごとに親しみを加えてゆきます。

「と話しあつたことがありま

た。物価は、どんどんあがり、生産したものにはそれに比例しません。こんなときの農協の合併が農家に明るい未来を築いてくれますように祈るのです。

今、合併十年をむかえようと

しに故人をしのぶるでありま

ようか。

出石寺の参拝客も、バスの団体客となり、その発展ぶりは、除夜の鐘となつて、全国に放送される運びだといわれます。

おればさみに、金剛つえの三々五々のお遍路姿も、遠い昔のなつかしい思い出の語り草となりま

た。

町民親しく集い合う体育館もこのほど竣工しました。移り変わる世相の中に、長浜町は伸びてゆきます。

今や、九・四の結びは、夢でなく、遠からず、実現するでありましよう。

重要な地位にあつて、今後、その実が、ますます発揮できるよう才たけた、若き町長に、町民こそつて、大きな期待をかけ、親しく安らかな生活ができることを願つてやみません。

(大字豊茂)

この間、役場の出先機関の各支所は、適時に適当に廃止縮小され納税組合区長会その他の団体をまんに活用されるなど、相当な配慮がうかがわれます。

公民館活動の一環である子供会老人クラブの育成など、きめの細かな手がうたれた、今や、押しも押されぬ長浜町の成長を見た私は思っています。

ここに、両町長ならびに、議会その他の関係者に、しんじんの敬意を表すものです。

ただ、惜しいことは、ここ数年青壮年層が、大都市流出の問題が未解決で、合併当時の人口二万人以上が、現在一万七千人と、一五%も減つたことで、これは、ひとり、当町だけの悩みでなく、県下各町村共通のことで、でき得る限り、工場誘致産業振興開発などにより、人口流出を防止するよう、町当局、議会、その他の衆知を結集善処方を望んでやみません。

(大字長浜)

長浜町十年の歩みを顧みて

久保 七 葉

町長のバトンがタツチされ、前町長に劣らぬ英知と若さで町民の幸を願つて、親しく、町民の声をきき、献身的な努力をしつづけてくださり、農業構造改善が着々と進められ、やがて、みかんの里として、多くのみかんが積み出されるでありましよう。

発展は、道路から

して、長浜町の大きな損失は、西田県議を失つたことです。

春は、におうばかりの菜の花の点てする山里を、後へ後へと、バスの車窓にながめながら、山並みを縫つて登り切つた、郷の時にその道路と共に、永遠に朽ちることなく、氏の幾多の功績をたたえ、しよう徳碑を、だれが感激な

地財法では、十二年間に赤字解消の構想だと聞かされてい

それから、町当局と町民との忍苦の月日が流れました。末永町長が公の席上で「五か年早く赤字を解消した。」と感激の発表をされたのは、数年前でした。

ピンチヒッターが、ついに、ホームランを、かつ飛ばした訳です。われら、観覧席のファンは、拍手かっさい、心から「苦勞さま」と申あげたのでした。

十年のうち、前八年末永、後二年は現町長西田氏です。西田チームは、若手で、そこに魅力もあり滞つた事業もようやく軌道に乗りじんかい焼却場、し尿処理場、火葬場の新築、さらに、白滝日の浦、大上水道の布設など、環境衛生上のヒットを記録。また、青島小中学校、白滝小学校の新築、町内有線電話の架設、あるいは、農林道の開闢、漁港の改修、農協の合併漁協の合併など、若干問題はありましたが、一応ヒットです。

沖浦福音、出石寺、白滝公園を結ぶ観光路線の整備、沖浦大洲線、舩川南岸道路の着工、町内道路舗